

琉球大学学術リポジトリ

不良胚移植後妊娠の周産期・新生児予後

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学 公開日: 2018-04-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: Akamine, Kozue, 赤嶺, こずえ メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/40905

(別紙様式第3号)

論 文 要 旨

論 文 題 目

A comparative study of obstetric and neonatal outcomes of live births between
poor- and good-quality embryo transfers

(不良胚移植後妊娠の周産期・新生児予後)

氏名 赤嶺 二かえ 印

不妊症患者に対する体外受精の治療成績は向上してきたが、加齢や卵巣機能低下などにより難治性不妊症患者に対しての成績は、いまだ低い状態である。このような症例の多くは、排卵誘発剤に対しての反応が極端に悪いため、1回の採卵で得られる卵や受精卵が少なく、加えて良好な胚が1個も得られないことも少なくない。貴重な受精卵が形態学的に不良な胚（不良胚）のみであった場合、移植後の周産期予後に関して不安を訴える患者も多く、移植すべきか苦慮することがある。形態学的に良好な胚（良好胚）を移植した場合に比べると、不良胚を移植した場合の妊娠率が低いことは、これまで多くの先行研究で報告されているが、妊娠成立時の周産期・新生児予後に関しては、いまだ不明な点が多い。

そこで本研究では、当院で移植を施行し妊娠転帰の詳細が得られた症例を解析し、不良胚移植による妊娠は、周産期・新生児予後にどのような影響を及ぼすのか明らかにするこ

と	を	目	的	と	し	た	。												
	2008	年	1	月	か	ら	2014	年	12	月	の	期	間	、	当	院	で	体	外
受	精	・	胚	移	植	後	、	生	児	獲	得	に	至	っ	た	症	例	の	う
ち	、	単	胎	妊	娠	で	妊	娠	経	過	の	詳	細	が	得	ら	れ	た	症
例	(良	好	胚	群	80	例	、	不	良	胚	群	25	例)	を	対	象	と
し	、	両	群	間	の	周	産	期	・	新	生	児	予	後	を	比	較	し	た
胚	の	良	・	不	良	に	関	し	て	は	、	初	期	胚	(受	精	3	日
目	の	胚)	で	は	Week	分	類	Grade2	以	上	、	胚	盤	胞	(受		
精	5	日	目	の	胚)	で	は	Gardner	分	類	3BB	以	上	を	良	好	胚	
と	し	、	そ	れ	以	外	を	不	良	胚	と	定	義	し	た	。			
	不	良	胚	群	で	胚	盤	胞	移	植	の	割	合	が	低	い	傾	向	に
あ	っ	た	が	、	年	齢	、	BMI	、	子	宮	手	術	の	有	無	、	早	産
歴	、	不	妊	期	間	、	移	植	時	子	宮	内	膜	厚	な	ど	、	そ	の
他	の	患	者	背	景	に	有	意	差	は	な	か	っ	た	。	良	好	胚	群
と	不	良	胚	群	の	周	産	期	・	新	生	児	予	後	を	比	較	す	る
と	、	出	生	体	重	、	出	生	週	数	、	分	娩	方	法	、	前	期	破
水	の	頻	度	、	早	産	率	、	低	出	生	体	重	率	、	妊	娠	高	血
圧	症	候	群	、	妊	娠	糖	尿	病	、	絨	毛	膜	羊	膜	炎	、	前	置
胎	盤	、	常	位	胎	盤	早	期	剥	離	、	巨	大	児	(≥	4000g)	、
臍	帯	動	脈	血	pH	<	7.20	の	頻	度	、	奇	形	率	の	項	目	で	い

